

令和3年 作物技術普及情報 第12号

水稲の生育状況及び、長雨に対する大豆・水稲の栽培管理について

1 気象状況

7月8日気象庁発表の向こう1か月予想では、前半は曇りや雨の日が多く、後半は晴れの日が多いと予想されています。気温・降水量・日照量は平年並みと予想されています。

2 水稲の生育状況

定点圃場のあきたこまちは7月4日(平年より2日早)、美山錦は7月6日(平年より1日早)に幼穂形成期を迎えました。

コシヒカリも平年より1~2日程度早く幼穂形成期を迎えると予想されます。

7月7日現在の標高別、田植え時期別の生育状況については、別添の「松本地域における発育指数(DVI)による水稲生育予測」をご覧ください、追肥作業にご活用ください

7月7日現在 安曇野市 豊科 標高550m 5月15日植(稚苗)の場合

コシヒカリ 稚苗	幼穂長 2mm の予測日	幼穂長 10mm の予測日	出穂期 の予測日	あきたこまち 稚苗	幼穂長 2mm の予測日	幼穂長 10mm の予測日	出穂期 の予測日
本年	7月15日	7月22日	8月7日	本年	7月4日	7月11日	7月26日
平年	7月16日	7月23日	8月9日	平年	7月6日	7月13日	7月28日
平年差	1~2日早			平年差	2日早		

3 葉いもち病について

7月9日現在の葉いもち病感染好適条件の判定結果では、6月14～19日、6月28～30日、7月6～9日にかけて、松本管内で感染好適条件が出現しています。特に7月6～9日は全県的にも好適条件が出現し、極めて注意が必要な状況です。

条件が揃えば、感染好適条件から7日程度で、病斑が確認できると思われます。昨年発生した圃場や、常発地帯、多発したことのある圃場、苗箱剤の未使用圃場、直播圃場等では、圃場をよく観察していただき、発生状況によっては防除対策を講じてください。

4 長雨に対する大豆の栽培管理について

7月に入り雨が降り続き、日照のほとんどない状況になっています。このため、小麦後の大豆播種は1／3程度作業が進んだところで、中断しています。

昨年同様、厳しい条件になっていますが、以下の点にご注意いただき、作業を進めていただくようお願いいたします。

- 1 播種は可能な限り7月中旬までに行う（やむを得ない場合は7月下旬までに行う）。

通常よりかなり遅い晩播になるため、開花までの日数が短くなり、草丈が短く、生育量が少なくなります。

このため、通常の7月上旬播種より、7月中旬播種では2割は低収、7月下旬播種ではそれ以上の低収になることは、ご承知おきください。

- 2 播種量はナカセンナリの場合、8kg／10a程度（大粒～中粒）とする（これ以上増やしても、生育量は確保できず増収効果はありません）

- 3 播種後、圃場内に水が停滞している場合は、水尻、暗渠を開けて、急ぎ排水する。
大豆の種子は、冠水時間が長くなると出芽率が低下し、8時間で半減してしまいます。
- 4 これから耕起、播種するほ場は水尻、暗渠を開け、圃場がある程度乾燥してから播種する（ソバについても同様です）。
- 5 大豆が出芽してしまい、大豆出芽前処理の除草剤の散布ができない場合は、大豆の出芽後に処理可能な除草剤を散布する。